

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市環境審議会
開催日時	平成 29 年 2 月 9 日（木曜日）14 時 30 分～16 時 30 分
開催場所	立川市役所本庁舎 3 階 302 会議室
次第	1. 環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック） 2. 平成 28 年度家庭で取組むエコチャレンジについて
配布資料	（事前配布）資料たちかわし環境ブック 2016（案） 1 冊 （当日配布） 資料 1 たちかわし環境ブック 2016 変更内容 資料 2 平成 28 年度 家庭で取組むエコチャレンジ審査表（優良事例賞候補上位 5 チーム） 資料 3 平成 28 年度家庭で取組むエコチャレンジ事前審査採点結果 資料 4 平成 28 年度 家庭で取組むエコチャレンジ優良事例表彰について（予定） （参考）立川市家庭で取組むエコチャレンジ審査・表彰要領
出席者	[委員] 会長 原剛、副会長 伊藤麻紀子、森田寛臣、加藤禮子、関口貴、齋藤孚彦、村田佳壽子、吉岡正司、田中良明（敬称略） [事務局] 大野茂（環境下水道部長）、五十嵐智樹（環境対策課長）、八谷俊太郎（環境推進係長）、中原靖夫（環境指導係長）、神宮聖治（温暖化対策係長）、倉田雄一（環境推進係）
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0 人
会議結果	1. 環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック） ・加筆修正を進めつつ審議会にて確認をしていくこととする。 2. 平成 28 年度家庭で取組むエコチャレンジ審査について ・採点結果について、審議会の承認を受け、原案の通り優秀事例を選出することとした。
担当	環境下水道部環境対策課環境推進係 電話 042-528-4341

第 10 期第 3 回立川市環境審議会 会議録

開催日時 平成 29 年 2 月 9 日（木曜日） 午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分

開催場所 立川市役所本庁舎 302 会議室

出席者〔委員〕会長 原剛、副会長 伊藤麻紀子、森田寛臣、加藤禮子、関口貴、齋藤孚彦、村田佳壽子、吉岡正司、田中良明（敬称略）

〔事務局〕大野茂（環境下水道部長）、五十嵐智樹（環境対策課長）、八谷俊太郎（環境推進係長）、中原靖夫（環境指導係長）、神宮聖治（温暖化対策係長）、倉田雄一（環境推進係）

1 環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック）

○事務局より事前配布資料及び資料 1 に基づき、環境ブックの修正経過を説明した。

特集のテーマについて、前回の審議会で、生物多様性、温暖化対策、フードロスの 3 つのテーマが出された。今回は、新しいテーマであり、注目されているテーマであるフードロスを選択した。

○委員意見

1) 特集の内容について

- ・食品ロスは、廃棄物のテーマにつながるものであり、重要な問題である。
- ・食べきり協力店の仕組みにより過剰なことはしないということが環境問題に通じる。
- ・世代を超えて同じ食品量を出すのは、どうかと思う。
- ・食べきり協力店の仕組みでは、2 回食べるポイントを作っている。市民の協力が大事であり、立川市ではごみ分別に見られるように市民意識が高い。
- ・外食産業の廃棄量を抑えないといけない。
- ・食品リサイクル法が制定された。外食産業から全体の内 70% の廃棄量が出されている。食品を捨てることは税金を使う事にもなる。消費者の意識の向上が必要である。販売棚は一杯になっているが、販売棚に置かれている食品が、日数を過ぎると廃棄されるという意識がないことが問題である。食品を提供しているところでキャンペーンをすべきである。
- ・仕入れが少ないと品切れを起こすこともあり、難しい課題である。食べきり協力店について、立川市内 600 店舗ほどの飲食店があり、協力できる店舗から始めて広げようとしている。
- ・特集の最終頁の下半分が空白であるので、くるりんの絵と声かけの文面を入れてはどうか。
- ・世界の食糧状況がわからず、イメージしにくい。
- ・事業所や個人ががんばらないといけないことがわかりにくい。一人ぐらい平気、一人ぐらいがんばっても仕方がない、ではなく、一人が頑張るのが 100 人になるとすごい力になる、ことを訴えかけてもらいたい。
- ・給食委員会や社会、理科などで環境問題の授業があるので、この特集内容を使うことができる。
- ・こどもに興味を持ってもらうことで、家庭に広げることができる

2) 本編について

- ・第3部の図については、10年間のデータに統一したため見やすくなった。
- ・第3部の表紙にくるりんの絵が挿入されていたが、他の部分にも入れられると良いのではないか。
- ・一部数字の誤りがあるので確認をお願いしたい。

2. 平成28年度家庭で取組むエコチャレンジ審査について

事務局より資料2～資料5の説明を行った。

- ・エコチャレンジの記入欄について、こどもが記入する欄と親が記入する欄を設けてはどうか。
- ・エコな行動が定着することは、良いことである。
- ・優秀事例については、資料の通り選出することとしたい。

3 閉会

以上